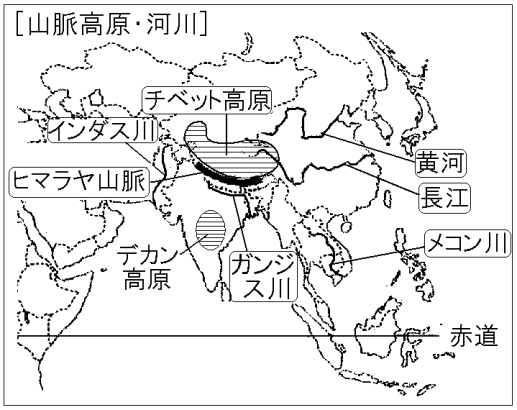
【】地形・気候

[山脈高原・河川]

[解答 1]① ヒマラヤ　② 長江

[解説]

アジアの中央部には，8000m をこえる山々が連なるヒマラヤ山脈(エベレスト山は世界最高峰)やチベット高原があり，「世界の屋根」ともいわれている。それらの山地から，東には長江，黄河，西にはインダス川，南にはメコン川などの大きな川が流れ出ている。



※出題頻度：「ヒマラヤ山脈◎」「チベット高原◎」「長江◎」「黄河◎」「メコン川○」「インダス川◎」「ガンジス川○」「デカン高原△」

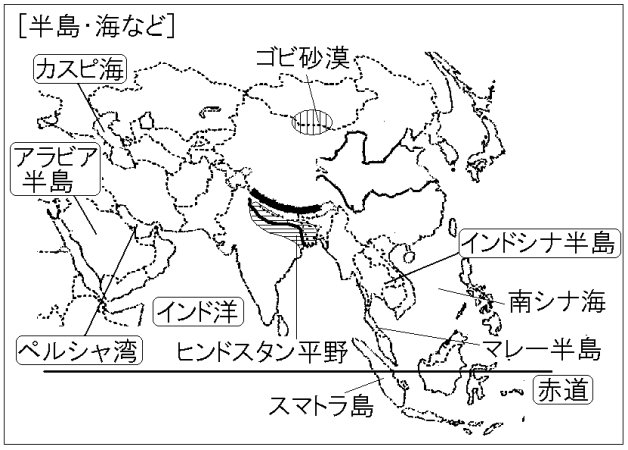
(頻度記号：◎(特に出題頻度が高い)，○(出題頻度が高い)，△(ときどき出題される))

[解答 2]A ヒマラヤ山脈　B チベット高原　C 長江　D 黄河　E メコン川　F ガンジス川　G インダス川

[半島・海など]

[解答 3]A カスピ海　B ペルシャ湾　C アラビア半島　D インドシナ半島

[解説]



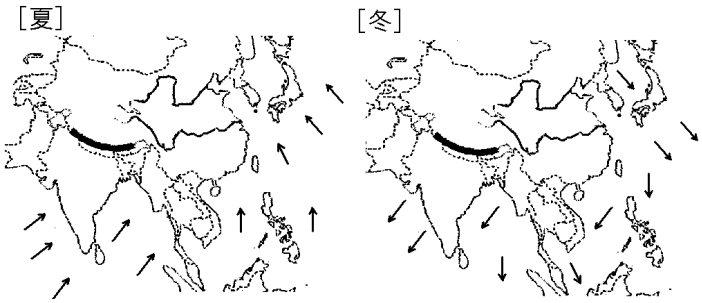
※出題頻度：「赤道の位置○」「インド洋○」「カスピ海○」「南シナ海△」「ペルシャ湾○」「アラビア半島◎」「インドシナ半島◎」「マレー半島△」「スマトラ島△」「ゴビ砂漠△」「ヒンドスタン平野△」

[解答 4](1)A インドシナ半島　B ヒンドスタン平野　C デカン高原　D インド洋
E ペルシャ湾　F アラビア半島　G カスピ海　(2) ウ　(3) 世界の屋根
(4) ユーラシア大陸
[解答 5]A 黄河　B 長江　C メコン川　D 南シナ海　E スマトラ島　F マレー半島
G インドシナ半島　H デカン高原　I ヒマラヤ山脈　J チベット高原　K ゴビ砂漠
L インダス川　M ペルシャ湾　N アラビア半島　O カスピ海　P 赤道

[季節風(モンスーン)]
[解答 6]季節風(モンスーン)
[解説]
アジアの東部と南部では,右下の図のように,半年ごとに風向(かざむ)きが逆になり，夏は海から陸方向へ，冬は陸から海方向へ風が吹(ふ)く。この風をモンスーン(季節風(きせつふう))という。

[モンスーン(季節風)]
夏：海から湿った風 → 雨季
冬：大陸から乾いた風 → 乾季

インドシナ半島やインド半島では，夏は海からの湿(しめ)った季節風が吹くため雨量が多い(雨季(うき))。冬は，大陸から乾燥(かんそう)した季節風が吹くため雨量が少ない(乾季(かんき))。一方，大陸内部から西アジアにかけては，太平洋やインド洋からの風の影響が及ばないため乾燥帯(かんそうたい)になっている。



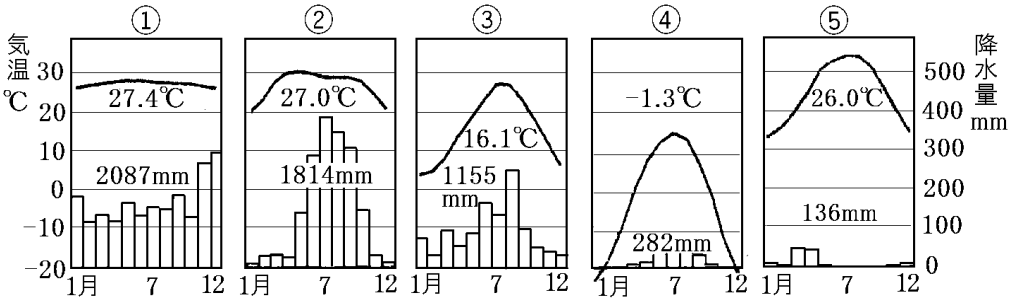
※出題頻度：「モンスーン(季節風)◎」「夏：海からの湿った風○→雨季○」
「冬：大陸からの乾いた風○→乾季○」

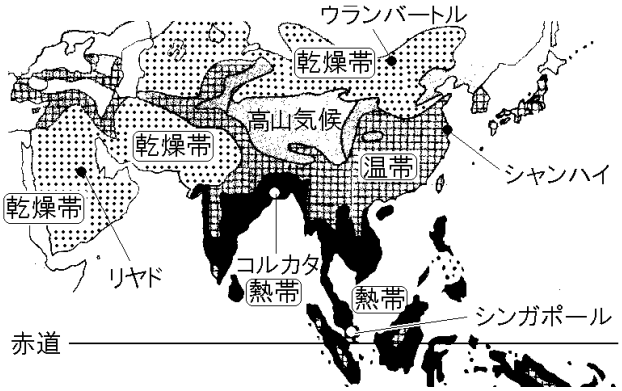
[解答 7](1) モンスーン　(2) イ　(3) オ
[解答 8](1) 季節風(モンスーン)　(2) 7 月　(3)① 雨季　② 海からの湿った風が雨を降らせるから。
[解答 9]① 東部　② 季節　③ モンスーン　④ 南　⑤ 湿った　⑥ 雨　⑦ 北
⑧ 乾燥した　⑨ 乾

[雨温図]

[解答 10]リヤド：イ　シンガポール：ウ

[解説]





上の①～⑤の雨温図が何という気候帯のものかを判断し，次に，それぞれ右の地図中の 5 つのどの都市のものかについて考えてみる。まず，降水量が非常に少ない乾燥帯の雨温図がないかどうか調べる。雨温図のうち，④と⑤は降水量が非常に少ないことから，乾燥帯のものだと判断できる。右の分布図から，乾燥帯に属するのはリヤドとウランバートルの 2 つである。ウランバートルはリヤドより高緯度にあるので，気温が低い。したがって，④がウランバートル，⑤がリヤドの雨温図と判断できる。残りの①～③は，コルカタ(熱帯)，シンガポール(熱帯)，シャンハイ(温帯)のいずれかなので，熱帯か温帯である。このうち①と②は平均気温が 20℃台なので熱帯であると判断できる。赤道直下にあるシンガポールは，年中雨の多い熱帯雨林気候なので，雨温図は①であるとわかる。赤道からはなれたコルカタは，雨季と乾季のある熱帯のサバナ気候なので，雨温図は②であると判断できる。

温帯にあるシャンハイの雨温図は，平均気温が 10℃台である③である。

※出題頻度：「雨温図：乾燥帯◎，熱帯(熱帯雨林気候◎・サバナ気候◎)，温帯○，冷帯△」

[解答 11]X：イ，熱帯　Y：ア，乾燥帯　Z：ウ，温帯

[解説]

アはカラチで乾燥帯，イはシンガポールで熱帯，ウはシャンハイで温帯である。雨温図の X は熱帯(熱帯雨林気候)，Y は乾燥帯，Z は温帯である。

【】国名・地域区分など

[国名]

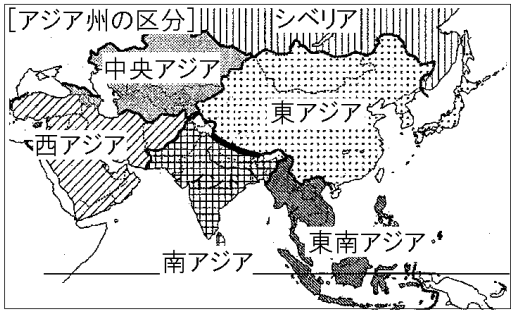
[解答 12](1)A 韓国(大韓民国)　B 北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)
C 中国(中華人民共和国)　D モンゴル　E フィリピン　F ベトナム　G マレーシア
H インドネシア　I シンガポール　J タイ　K インド　L イラン　M イラク
N サウジアラビア　O アラブ首長国連邦　(2)A ソウル　C ペキン　K デリー
※出題頻度：「中華人民共和国○」「モンゴル○」「大韓民国△」「台湾△」「フィリピン△」「マレーシア△」「インドネシア△」「シンガポール△」「タイ△」「ベトナム△」「インド○」「イラン△」「イラク△」「サウジアラビア○」「アラブ首長国連邦△」

[地域名]

[解答 13]A 東アジア　B 東南アジア　C 南アジア　D 西アジア　E 中央アジア
F シベリア

[解説]

アジア州は，東アジア，東南アジア，南アジア，西アジア，中央アジア，シベリアに区分される。中央アジアに属する国としては，カザフスタン，ウズベキスタンなどがある。
※出題頻度：「東アジア△」「東南アジア△」「南アジア△」「西アジア△」「中央アジア△」



[解答 14]A 南アジア　B 中央アジア　C 西アジア　D 東アジア　E 東南アジア
F 西アジア　G 東アジア　H 東南アジア

[解答 15]① 東南アジア　② 中央アジア　③ 西アジア　④ 南アジア　⑤ 東アジア

[世界の 6 割をしめる人口]

[解答 16]6

[解説]

アジアは人口が多く，世界人口(約 80.5 億人)の約 6 割の 47.5 億人が住んでいる(2023 年)。アジアは他の地域と比較すると，人口密度(みつど)が高いところが多いという特徴がある。
(統計修正)「日本国勢図会 2024/2025」P15
※出題頻度：「6 割○」「47 億人△」

[アジアの人口]
世界の人口は80.5億人
アジアはその 6割 の 47.5億人
人口密度が高い

[解答 17]① 47.5 億人　② 6　③ 高い

【】東アジア

【】中国の人口・民族

[一人っ子政策]

[解答 18]一人っ子

[解説]

1949 年の建国時に 5 億人台であった中国の人口は, 増加を続け, 1970 年には 8 億人を越え, 2023 年現在の人口は 14.3 億人になった。人口増加は食料不足をもたらすおそれがあったので，中国政府は人口増加を抑えるために, 1970 年代末から 1夫婦に子どもは 1 人という一人っ子政策を始めた。この政策は一定の効果をあげ, 人口増加率は低下してきている。しかし，その結果として，少子高齢化が急速に進んだため，この政策は 2016 年に廃止され，2 人まで子どもをもつことが認められるようになった。

[一人っ子政策]
人口増加を抑える目的
↓
人口増加率が低下
急速な少子高齢化
↓
廃止

(統計出典)「日本国勢図会 2024/2025」P16

※出題頻度 :「人口増加を抑えるため△」「一人っ子政策◎」「少子高齢化○→廃止△」

[解答 19](1) 一人っ子政策　(2) 人口の増加をおさえるため。　(3) 少子高齢化

[解答 20]少子高齢化が急速に進んだため。

[解答 21]X 老年人口　Y 急速に増えている

[中国とインドの人口]

[解答 22](1)A 中国　B インド　(2)① 一人っ子　② 低下

[解説]

一人っ子政策をとったために，中国の人口増加率が低下しているのに対し, インドは出生率が高い状態が続いている。2010 年時点では，中国が 13.4 億人でインドが 12.3 億人であったが, 2023 年には，中国が 14.26 億人でインドが 14.29 億人とインドの人口が中国の人口を上回った。

[中国とインドの人口]
中国：一人っ子政策→人口増加率が低下
インド：人口増加率が高い
↓
2023年にインドの人口が中国を上回った

(統計修正)「日本国勢図会 2024/2025」P16

※出題頻度 :「インドの人口は中国を抜いて世界 1 位に△」

[解答 23]一人っ子政策をとってきた中国の人口増加率が低下しているのに対し，インドは出生率が高く人口増加率も高いため。

[多民族国家]

[解答 24]① 漢(漢民) ② 華人

[解説]

中国では人口の約 9 割をしめる漢族(漢民族)のほかに, 55 の少数民族がくらしている。少数民族は主に中国の西部で生活している。東南アジアなどの各地に移り住み，商業や金融業を営み，現地の国籍をとって定着した中国系の人々を華人という。

[中国]
漢族：人口の約9割
少数民族：西部で生活
華人

※「漢族(漢民族)・少数民族」の語句が出てこない教科書もある。

※出題頻度：「漢族(漢民族)○」「少数民族△(西部△)」「華人○」

[解答 25](1) 漢族(漢民族) (2) 少数民族 (3) 西部 (4) 華人

【】中国の農業

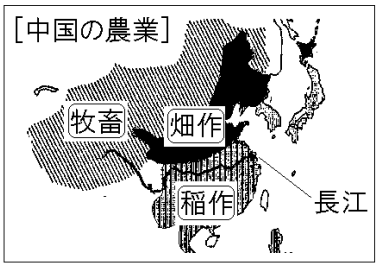
[中国の農業区分]

[解答 26]稲

[解説]

中国の農業は大きく 3 つに区分される。長江流域の華中やチュー川流域の河南など, 温暖で降水量の多い地域では稲作がさかんである。華南のチュー川流域では，暖かい気候を利用して米の二期作が行われている。

降水量が少ない黄河流域の華北や東北地方では，小麦，大豆，とうもろこしなどの畑作が中心である。乾燥した西部では羊などを飼う牧畜(遊牧)が行われている。



※出題頻度：「南部で稲作○」「北部で畑作(小麦や大豆)○」「西部で牧畜(遊牧)○」

[解答 27]A イ B ア C ウ

[解答 28]① 小麦 ② 黄河 ③ 長江 ④ 米

[解答 29](1) 米 (2) 二期作 (3) 小麦，大豆(とうもろこし) (4) 遊牧

[解答 30]東北区・華北では降水量が少ないので畑作が，華中・華南では降水量が多いので稲作が行われている。

[米・小麦などの生産統計]

[解答 31](1) A (2) 人口が多いため米の消費量も多いから。

[解説]

中国は，小麦や米の生産量が世界 1 位であるが，人口が多いため，生産量された小麦や米は国内で消費され，さらに，不足分は輸入にたよっている。

米，小麦ともに生産量が 1 位は中国で 2 位はインドである。A は 3 位以下にアジアの国が並んでいるので米の生産を表していると判断できる。
次のように，米・小麦・茶の生産高は，1 位が中国で 2 位はインドである。綿花は 1 位がインドで，2 位が中国である。
米(2022 年)　：中国(26.9%), インド(25.3%), バングラデシュ(7.4%), インドネシア(7.1%), ベトナム(5.5%)，タイ(4.4%)
小麦(2022 年)：中国(17.0%)，インド(13.3%)，ロシア(12.9%)，アメリカ(5.6%)
茶(2023 年)　：中国(41.9%)，スリランカ(20.4%)，ケニア(11.5%)，インド(11.2%)
綿花(2021 年)：インド(23.6%)，中国(22.5%)，アメリカ(15.0%)，ブラジル(8.8%)
(統計修正)「日本国勢図会 2024/2025」P144，146，158，240
※出題頻度：「中国は人口が多いため，生産量された小麦や米は国内で消費される○」
「生産高順位→農産物名(米・小麦・茶・綿花)△」

[解答 32]A 小麦　B 茶　C 綿花　D 米
[解説]
米・小麦・茶・綿花の生産 1，2 は中国とインドである。3 位以下の生産国名から何の農産品か判断する。
D：3 位以下はアジアの国々なので米と判断できる。
A：3 位以下は，ロシア・アメリカなので小麦と判断できる。
B：3 位がケニアなので茶と判断できる。

【】中国の工業・経済
[中国の経済成長]
[解答 33]① 経済特　② 世界
[解説]
それまでの計画経済に行きづまった中国は，1980 年代になると，外国企業を招いてその資金や技術を導入して工業の発展をはかるため，シェンチェンやアモイなどを経済特区に指定した。日本やアメリカの企業にとって，安くて豊富な労働力が手にはいる中国へ進出する利益が大きかったので，あいついで進出を行った。経済特区に指定された地区はいずれも沿岸部(沿海部)である。これは，沿岸部のほうが，船での輸出や輸入に便利だからである(陸上輸送の費用は海上輸送費用よりはるかに高い)。その後，沿岸部を中心に工業化，経済成長が急速に進み，中国の工業製品は世界中に輸出されるようになり，中国は「世界の工場」と呼ばれるようになった。

[経済特区]
外国企業を招いてその資金や技術を導入
沿岸部(シェンチェンやアモイ)
安くて豊富な労働力→外国企業の進出
工業化→世界の工場

しかし，近年，中国の労働者の賃金が上昇したことなどのために，中国から賃金が安い東南アジアの国々に工場を移す日本や欧米の企業が増えている。
※出題頻度：「経済特区◎」「外国企業を招いてその資金や技術を導入するため◎」
「安くて豊富な労働力→外国企業が進出○」「沿岸部◎」「世界の工場◎」
「中国から東南アジアの国々に工場を移す動き△

[解答 34](1) 経済特区　(2) 資本と技術　(3)① 沿岸(沿海)　② 工場
[解答 35](1) 経済特区　(2) C　(3) シェンチェン　(4) 外国企業を招いてその資金や技術を導入するため。　(5) 安くて豊富な労働力が手にはいるから。　(6) 世界の工場
(7) 東南アジアの国々のほうが中国より賃金が安いから。

[沿岸部と内陸部の経済格差]
[解答 36]① 沿岸部　② 内陸部
[解説]
外資導入などの改革開放政策により，1990 年代から，中国は高い経済成長を続け，「世界の工場」と呼ばれるまでになった。しかし，経済成長の中心は沿岸部の都市で，内陸部，とくに農村は貧しいままになっている。沿岸部都市と内陸部農村部の経済格差が大きくなっている。内陸部の農村と沿岸部の都市では所得の格差があるため，農村から都市へ高い収入を求めて出かせぎへ行く人(農民工)が増えている。

[沿岸部と内陸部の経済格差]
沿岸部が経済発展
内陸部と沿岸部の経済格差が拡大
農村から都市への人口移動(出かせぎ)

※出題頻度：「内陸部と沿岸部の経済格差が大きくなった◎：沿岸部が発展○」
「農村から都市への人口移動(出かせぎ)○」

[解答 37]① 沿岸部　② 内陸部　③ 格差　④ 出かせぎ
[解答 38]内陸部と沿岸部の経済格差が大きい。

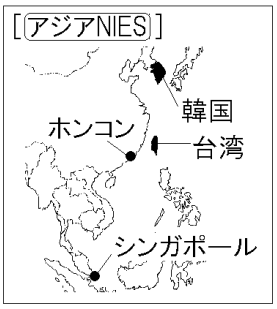
[進む都市化と環境問題]
[解答 39]① 大気　② 再生可能
[解説]
経済の成長によって，農村からの出かせぎ労働者などが集まったことで，多くの都市では人口が増加し，都市の周辺では工場や住宅の建設が相次いだ。こうした急速な都市化に環境対策が追いつかず，工場や自動車，家庭からの排煙や排気ガスによる大気汚染や，排水による河川，湖の水質汚染など，深刻な環境問題が起こっている。

[進む都市化と環境問題]
都市化→大気汚染などの環境問題
再生可能エネルギー(太陽光・風力)の導入

そこで，太陽光や風力などの再生可能エネルギーの導入を進めている(中国の太陽光発電量や風力発電量は世界一である)。
※出題頻度：「都市化△」「大気汚染○」「再生可能エネルギー△」

[解答 40](1) 大気汚染　(2) 再生可能エネルギー　(3) 風力発電

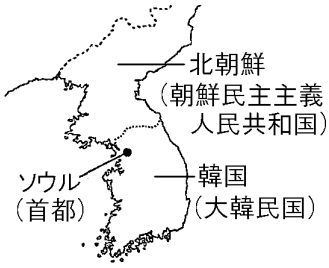
【】韓国など
[アジア NIES]
[解答 41]アジア NIES
[解説]
近年急速に工業が発達した国や地域を NIES(新興工業経済地域)という。このうち，アジアにある韓国，台湾，ホンコン，シンガポールを特にアジア NIES と呼んでいる。
※出題頻度：「アジア NIES◎」「韓国，台湾，ホンコン，シンガポール△」



[解答 42](1) NIES　(2) アジア NIES　(3) マレーシア
[解答 43](1) アジア NIES　(2)A 韓国(大韓民国)　B 台湾　C ホンコン　D シンガポール

[韓国]
[解答 44]① 重化学　② ソウル
[解説]
韓国では，原料や燃料を輸入し，加工した製品を輸出する，輸出中心の工業化が図られてきた。1960 年代には，せんい製品などの軽工業製品の輸出が中心であったが，1970 年代になると，日本などの外国からの資金や技術の援助により，南東部の沿岸地域を中心に，鉄鋼，石油化学，造船，自動車などの重化学工業を発展させた。しかし，1990 年代後半に経済危機が深刻化したことで産業構造が見直され，現在では，ICT(関連)産業が主力産業になっている。
首都のソウルとその周辺には，総人口の半分程が暮らしている。国の機関や主要な企業の本社のほとんどがソウルにあり，人口と政治や経済の一極集中が進んでいる。ソウルと地方の間には就業の機会や収入などで格差が生じ，ソウルとその周辺では土地や住宅の価格高騰，交通混雑などの都市問題が生じている。

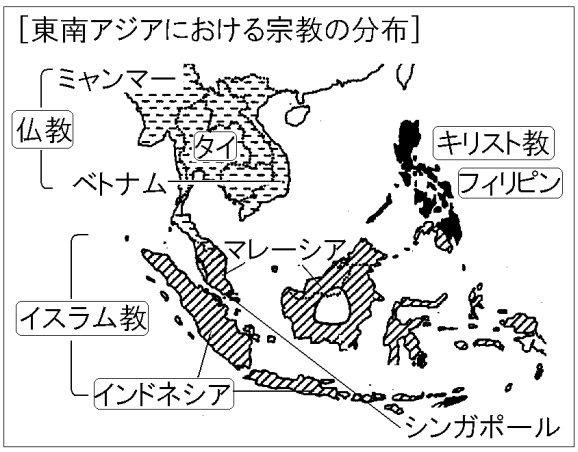
[韓国]
1960年代：せんいなど軽工業
1970年代：重化学工業
1990年代：経済危機
↓
産業構造の見直し→ICT産業
首都ソウルへの一極集中



韓国と日本には長い交流の歴史がある。また，ハングルという文字を使う韓国語の文法や敬語, 食事に箸を使うこと, 儒教や仏教の影響を受けていることなど日本と似ている点がある。
※出題頻度：「韓国(大韓民国)(地図)○，首都はソウル(地図)△」
「軽工業△→重化学工業△→ICT 産業△」「首都ソウルへの一極集中△」「ハングル△」
「北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)△」

[解答 45](1)A 韓国(大韓民国)　B ソウル　(2) 一極集中
(3) 軽工業→重化学工業→ICT 関連産業
[解答 46]① 大韓民国　② ソウル　③ 朝鮮民主主義人民共和国　④ 軽工業
⑤ 重化学工業　⑥ 輸出　⑦ ICT　⑧ 一極　⑨ ハングル

【】東南アジア
[国名・宗教]
[解答 47]① 仏　② イスラム　③ キリスト
[解説]
仏教はインドから東南アジアの北部に伝わった。右図のミャンマー, タイ, ベトナム，などに仏教徒が多いのはそのためである。イスラム教は 7 世紀にアラビア半島でおこり，東西にまたがる広大なイスラム帝国がつくられた。イスラム商人はインド，東南アジア南部, 中国にかけて海上貿易を行い，イスラム教はインド, 東南アジア南部(現在のマレーシア，インドネシア)におよんだ。



新航路の発見後, 16 世紀ごろ, スペインやポルトガルはアジアへ進出した。こうしたなかで，フィリピンはスペインの植民地となった。スペインはキリスト教布教を植民地支配の手段として活用したため，フィリピンではキリスト教が広まった。
※出題頻度：「国名：ミャンマー△，タイ○，ベトナム△，マレーシア△，インドネシア○，シンガポール△, フィリピン○」「仏教(タイ)○, イスラム教(インドネシア)○, キリスト教(フィリピン○：スペインの植民地だったから△)」

[解答 48]A 仏教　B イスラム教　C キリスト教
[解答 49]① 仏　② イスラム　③ スペイン　④ キリスト
[解答 50]かつてスペインの植民地だったから。
[解答 51]A ミャンマー　B タイ　C ベトナム　D マレーシア　E インドネシア
F シンガポール　G フィリピン

[東南アジアの稲作]

[解答 52]① モンスーン　② 二期

[解説]

東南アジアは，モンスーン(季節風)の影響で降水量が多いため，稲作が盛んである。1 年を通じて気温が高く，降水量も多いために，年に 2 回収穫する二期作ができる地域もある。以前は農作業に牛や馬を使っていたが，作業の機械化やかんがい施設の整備，品種の改良によって，米の生産量は大幅に増加した。

[東南アジアの稲作]
1年を通じて気温が高く，
モンスーン(季節風)
の影響で降水量が多い
→米の 二期作

米の生産量(2022 年)は，1 位が中国(26.9%)，2 位がインド(25.3%)，3 位がバングラデシュ(7.4%)で，4～9 位は東南アジアの国が占めている。輸出量(2022 年)では，1 位がインド，2 位がタイ，3 位がベトナムである。

※出題頻度：「米の二期作◎：同じ土地で 1 年に 2 回同じ作物(米)をつくる△」

「1 年を通じて気温が高く，モンスーン(季節風)の影響で降水量も多いから△」

「米の輸出：1 位インド，2 位タイ，3 位ベトナム△」

[解答 53](1) 米　(2) 二期作　(3) 1 年を通じて気温が高く，季節風の影響で降水量も多いから。　(4) かんがい設備　(5) タイ

[プランテーション]

[解答 54]プランテーション

[解説]

東南アジアでは，植民地時代に，天然ゴムなどの輸出用の農作物を大規模に栽培する大農園(プランテーション)が造られた(第二次世界大戦後，プランテーションは現地の人々によって経営されるようになった)。

[プランテーション]
植民地時代に開かれた大農園
あぶらやし：マレーシアとインドネシア
バナナ　：フィリピン
コーヒー：ベトナム
えびの養殖：マングローブの海岸

マレーシアとインドネシアでは，あぶらやし(マーガリン等を作るためのパーム油の原料)の農園にするために大規模な開発が進み，熱帯林(熱帯雨林)の減少も起こっている。

フィリピンではバナナの生産がさかんで，ベトナムではコーヒーの生産が伸びている。タイやインドネシアなどのマングローブが広がる海岸では，日本に輸出するためにえびの養殖場がつくられている。

※出題頻度：「プランテーション◎」「植民地時代△」「あぶらやし(マレーシア・インドネシア)△」「バナナ(フィリピン)△」「コーヒー(ベトナム)△」「えび(マングローブの海岸)△」

[解答 55](1)① 植民地　② プランテーション　(2) 米

[解答 56]① 植民　② プランテーション　③ あぶらやし　④ バナナ　⑤ コーヒー
⑥ マングローブ　⑦ えび　⑧ 熱帯雨(熱帯)

[ASEAN]
[解答 57]ASEAN
[解説]
1967 年に結成された東南アジア諸国連合(ASEAN)では，輸入品にかける関税をお互いに無くすなど，加盟国間の貿易や人の交流をさらに活発にしようとしている。現在，東南アジアのほとんどの国が ASEAN に加盟している。

ASEAN
東南アジア諸国連合

※出題頻度：「ASEAN◎(東南アジア諸国連合)◎：関税がかからない△」

[解答 58](1)① ASEAN　② 東南アジア諸国連合　(2) 関税
[解答 59]マレーシアとタイはともに ASEAN に加盟しているから。

[外国企業の進出と工業化]
[解答 60]安い
[解説]
近年，東南アジアや中国などに，日本企業などの外国企業が進出している。これは，日本と比べて労働者の賃金がはるかに安いためである。家電製品，自動車，冷凍食品などをつくる日本企業が，アジアの国々に工場を建設して日本向けの製品を生産している。さらに，アジア各国で経済が発展すると，これらの国々向けの製品を生産するために，日本から進出する企業も増えている。タイやマレーシアなどの国は，工業団地をつくって外国の企業を積極的に受け入れる政策をとっている。最近では，人件費の上昇などが原因で中国から撤退し，かわりに，東南アジアへ進出する日本企業が増えている。

[東南アジアへの外国企業の進出]
労働者の賃金が安いため
タイやマレーシア
工業団地をつくって外国企業を誘致

※出題頻度：「労働者の賃金が安い→外国企業の進出◎」「工業団地○」

[解答 61]① 安い　② 工業　③ 中国
[解答 62](1) 日本と比べて労働者の賃金が安いため。　(2) 工業団地
(3) 中国の労働者の賃金が上昇したため。
(統計修正)「世界国勢図会 2024/2025」P103

[解答 63]タイ：イ　ベトナム：エ

[解説]

2000 年より以前から，タイ，マレーシア，インドネシアには多くの日本企業が進出していた。特に，タイへの進出企業数が最も多い。近年では，より賃金の安いベトナムやミャンマーに進出する企業が増えている。東南アジアの国で人口が 1 億人を超えているのは，インドネシア(約 2.7 億人)とフィリピン(約 1.2 億人)で，ベトナム(0.96 億人)がこれに次いでいる。
タイは約 7 千万人，マレーシアは約 3 千万人である。以上より，アはマレーシア，イはタイ，ウはインドネシア，エはベトナムとわかる。

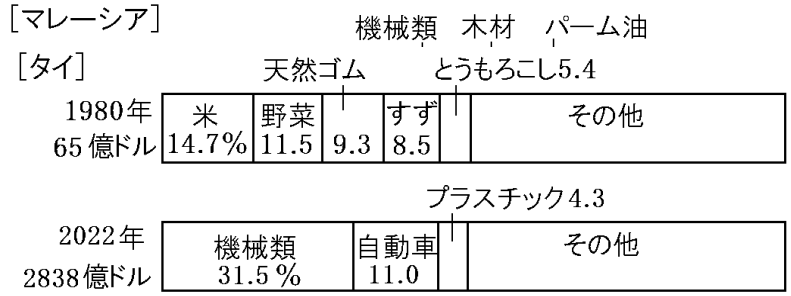
[輸出品の変化]

[解答 64]① 農産物　② 鉱産資源　③ 工業製品

[解説]

次のグラフからもわかるように，かつて，マレーシアやタイなどの輸出の中心は，鉱産資源(石油，すずなど)や農産物(天然ゴム，米など)が中心であった。しかし，工業化が進み，現在では，機械類などの工業製品が輸出の中心になった。

[輸出品の変化]
鉱産資源や農産物
↓
機械類などの工業製品



(統計出典)「世界国勢図会 2024/2025」P309，311

※出題頻度：「輸出品の変化：鉱産資源や農産物が減り→機械類などの工業製品が増えた◎」

[解答 65]輸出総額が大幅に増えた。かつては農産物や鉱産資源が輸出の中心であったが，現在では，機械類などの工業製品が輸出の中心になった。

[急速な都市化と課題]

[解答 66]スラム

[解説]

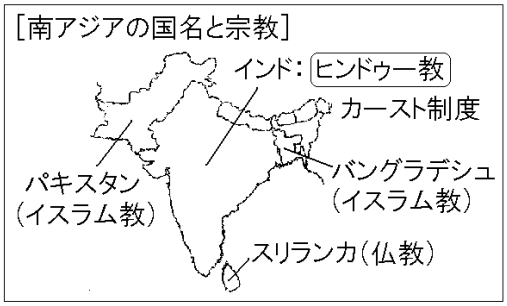
東南アジアでは，工業化(こうぎょうか)によって経済が成長すると，都市部の人々の収入は増え，生活水準が向上した。一方で，農村で暮らす人々との収入の格差(かくさ)は広がった。農作業の機械化によって労働力が余(あま)ってくると，仕事や高い収入を求めて，人々が農村から都市へ出ていき，1960 年代から都市の

[農村の変化と急速な都市化]
農業の機械化が進んで人手が余る
↓
若者が農村から都市へ
↓
都市問題(スラム，交通渋滞など)

人口が急速に増えた。都市では，スラムとよばれる生活環境の悪い住宅地ができたり，交通量が増えて日常的に渋滞が激しくなったりする都市問題が起こっている。
※出題頻度：「農業の機械化が進み，農村で人手が余る→若者が都市へ△」「スラム◎」

[解答 67]エ
[解答 68](1) 農業の機械化が進み，農村で人手が余るようになったから。　(2) スラム
[解答 69]生活環境が悪いスラムが広がる地域がある。(激しい交通渋滞が発生している。)

【】南アジア(インド)
[南アジアの国名と宗教]
[解答 70]① ヒンドゥー　② カースト
[解説]



南アジアでは，ヒンドゥー教徒が多く，インドでは約 80%をしめる。ヒンドゥー教徒は，牛を神の使いと考え牛肉を食べない。また，ガンジス川は聖なる川とされ，人々が水に身をひたして沐浴を行う。ヒンドゥー教はカースト制度といわれる身分制度とつながりが深い。
パキスタンやバングラデシュではイスラム教徒が，スリランカでは仏教徒が多く見られる。地域によって異なる多くの言語が使われているが，共通言語になっている英語を話す人も多い。
※出題頻度：「インド○：ヒンドゥー教◎」「カースト制度△」
「パキスタンとバングラデシュはイスラム教△」「スリランカは仏教△」

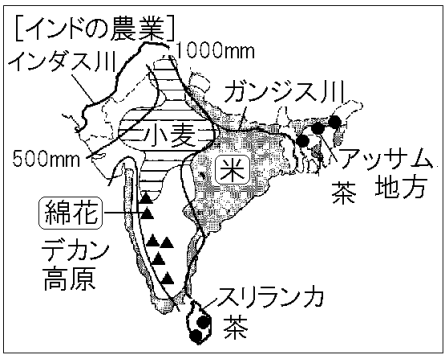
[解答 71]イ
[解説]
イはイスラム教徒の生活のようすである。

[解答 72](1) ヒンドゥー教　(2) カースト制度　(3) ガンジス川　(4) イスラム教　(5) 仏教
[解答 73]多くのインド人は，牛を神聖なものとして崇拝するヒンドゥー教を信仰しているから。
[解答 74]A 国名：パキスタン　宗教：イスラム教　B 国名：インド　宗教：ヒンドゥー教
C 国名：バングラデシュ　宗教：イスラム教　D 国名：スリランカ　宗教：仏教

[インドの農業]

[解答 75]① 小麦　② 綿花

[解説]



インドの農業の中心はヒンドスタン平野である。年降水量が 1000mm 以上のガンジス川下流域では米が栽培されている。降水量が 500mm 以上 1000mm 以下のガンジス川上流地域やインダス川流域では，乾燥した気候に適した小麦の栽培が行われている。また，輸出用の作物の栽培もさかんで，降水量の多いアッサム地方やスリランカの高地では茶，乾燥した北西部やデカン高原では綿花が生産され，世界各地に輸出されている。南アジアでは，人口増加による食料不足が心配されたので，作物の品種改良や化学肥料の普及などが進められてきた。その結果，インドやパキスタンでは，米や小麦の生産量が大幅に増えた。

※出題頻度：「綿花(デカン高原)○」「米(ガンジス川下流のヒンドスタン平野)○」「小麦(ガンジス川上流・インダス川流域)△」「茶(アッサム地方，スリランカ)△」

[解答 76]米は年降水量が 1000mm 以上の地域で，小麦は 500mm 以上 1000mm 以下の地域で主に栽培されている。

[解答 77]A 米　B 小麦　C 茶　D 綿花

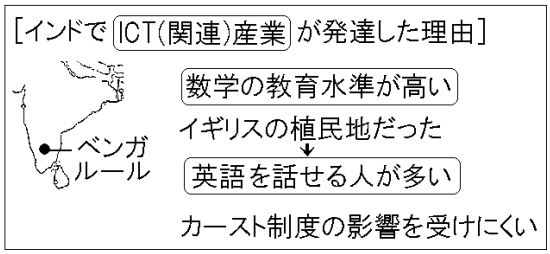
[解答 78](1)A ガンジス川　B ヒンドスタン平野　(2) 米　(3) 小麦　(4)●：綿花　▲：茶

[解答 79](1)① 米　② 小麦　③ 茶　④ 綿花　(2) ウ

[インドの ICT(関連)産業]

[解答 80]① ICT(関連)　② 英語

[解説]



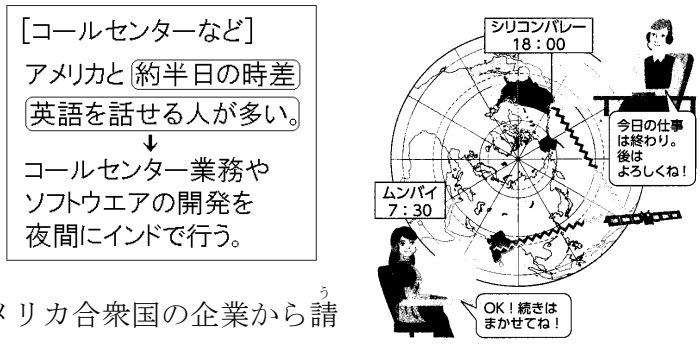
インドにおいては，ベンガルールを中心に ICT(関連)産業がさかんである。中でもソフトウェア産業の伸びが著しい。インドはもともと数学の教育水準が高く，英語が話せる人も多い(かつてイギリスの植民地であったから)。当初はアメリカのシリコンバレーなどへインドの技術者が渡り，ソフトウェアの開発にたずさわっていたが，現在は国内での開発が中心になっている。ICT(関連)産業は新しい産業であるため，身分と職業を制約するカースト制度の影響を受けにくいため，人々に広く受け入れられたという側面がある。

※教科書によって，「情報通信技術産業(ICT 産業)」と表現している教科書と，「情報通信技術関連産業(ICT 関連産業)」と表現している教科書がある。
※出題頻度：「ICT(関連)産業◎」「発達した理由：数学◎，イギリスの植民地△→英語◎，カースト制度の影響を受けにくい○」「ベンガルール(地図)△」

[解答 81]エ
[解説]
エが誤り。アメリカとは約半日の時差がある。

[解答 82]① ICT(関連)　② 数学　③ イギリス　④ 英語　⑤ カースト
[解答 83](1) ICT(関連)産業　(2) ベンガルール　(3) シリコンバレー
(4) インドはもともと数学の教育に力を入れており，英語を話せる人が多いから。

[アメリカとの時差]
[解答 84]① ベンガルール　② 英語　③ 時差
[解説]
インドは，lCT(関連)産業が世界で最も発達しているアメリカ合衆国と，約半日の時差があるため昼と夜が反対になる。この利点を生かし，アメリカ合衆国が夜の間に，コールセンター(電話対応)業務やソフトウエアの開発などの仕事をアメリカ合衆国の企業から請け負うことで，インドの ICT(関連)産業は大きく成長した。



アメリカでの夜の時間帯に，アメリカの企業 A 社への電話をインドのコールセンターB 社につなぐことで，アメリカの企業 A 社は 24 時間対応できるようになる。
※出題頻度：「約半日の時差○」「英語を話せる人が多い○」「ソフトウェアの開発△」「コールセンター(電話対応)業務△」

[解答 85]インドでは英語を話せる人が多いことと，インドとアメリカでは約半日の時差があること。
[解答 86]約半日の時差を利用し，アメリカが夜の間にインドで仕事を進められるから。
[解答 87]鉄鋼業，自動車工業，ICT 産業
[解説]インドでは，国内で生産される綿花や鉄鉱石，石炭などを原料にして，綿工業や鉄鋼業が早くから発達した。1990 年代に入って，外国企業の進出が活発になると，自動車産業を中心に工業化が進んだ。近年は，lCT(関連)産業が急速に成長しています。

【】西アジア・中央アジア

[西アジアの宗教など]

[解答 88]イスラム

[解説]

西アジアには，アラビア語を使うアラブ系の人々が生活する国が多く，人口のほとんどがイスラム教の信者である。イスラム教徒は，教典の「コーラン」に従って日常生活を送っており，1 日 5 回，聖地であるメッカの方角へ向けて礼拝する。また，豚肉を食べたり，酒を飲んだりすることは禁じられている。イスラム暦の 9 月に行われる断食や，メッカへの巡礼などは，イスラム教徒の義務とされている。

[西アジアの宗教など]
アラブ系：アラビア語
イスラム教：教典は「コーラン」
1日5回，聖地のメッカに向けて礼拝
豚肉や酒は禁止，9月の断食

※出題頻度：「西アジア△」「イスラム教○」「コーラン△」「メッカ△」「豚肉や酒の禁止△」「アラビア語△」

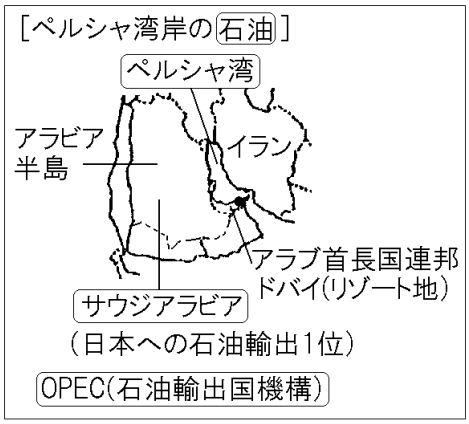
[解答 89](1) 西アジア　(2) イスラム教　(3)① コーラン　②ア 豚肉　イ 酒　③ メッカ　(4) アラビア語

[ペルシャ湾沿岸の石油]

[解答 90]① ペルシャ　② OPEC

[解説]

世界の石油埋蔵量の約半分は，ペルシャ湾沿岸を中心とする一帯に集中している。また，石油の生産量・輸出量ともにペルシャ湾沿岸の産油国が大きな割合を占めている。日本の石油輸入の約 8 割はペルシャ湾沿岸の国々からで，その中でも多いのが，サウジアラビア(1 位)とアラブ首長国連邦(2 位)である。西アジアの産油国は，石油の価格や生産量を調整し，産油国の利益を守るため，1960 年に OPEC(石油輸出国機構)を結成した。西アジアの産油国は，原油の輸出で得られた利益を使って新しい産業を発展させようとしている。例えば，アラブ首長国連邦はドバイという都市に人工島を造り，世界一高いビルを建設するなどしてリゾート地を開発し観光業を盛んにしようとしている。西アジアでは，資源をめぐっての利害対立や部族紛争などの内戦で，周辺に避難してくる人々がいる。この人々を難民という。



※出題頻度：「石油◎：ペルシャ湾沿岸◎」「OPEC(石油輸出国機構)◎」「パイプライン△」「サウジアラビア○」「アラブ首長国連邦△：ドバイ(石油にたよらない持続可能な都市づくり)○」「難民△」

[解答 91](1) ペルシャ湾　(2) 石油　(3) サウジアラビア　(4) OPEC(石油輸出国機構)
[解答 92](1) 石油　(2)① OPEC　② 石油輸出国機構　(3)A サウジアラビア　B イラン
C アラブ首長国連邦　(4) A　(5) アラビア半島　(6) パイプライン　(7) ドバイ　(8) 難民

[中央アジア]
[解答 93]① レアメタル　② シルクロード
[解説]
中央アジアの大部分は乾燥帯(かんそうたい)に属し，人々の多くはイスラム教徒(きょうと)である。中央アジアの国々は，ソ連に属(ぞく)していたが，1991 年のソ連の解体(かいたい)で独立した。中央アジアは，石炭や石油，天然ガス，レアメタル(希少金属(きしょうきんぞく))などの鉱産資源(こうさんしげん)が豊富(ほうふ)である。また，歴史的にシルクロード(絹(きぬ)の道)の交易で栄えた都市の遺跡(いせき)などには，多くの観光客が訪れる。

[中央アジア]
希少金属(レアメタル)
シルクロード(歴史遺産)

※出題頻度：「レアメタル(希少金属)◎」「シルクロード△」

[解答 94](1) レアメタル　(2) シルクロード(絹の道)　(3) イスラム教　(4) ソ連
(5) 乾燥帯

【】アジア全般
[解答 95]①A 黄河　B 長江　C ヒマラヤ　D チベット　E インダス　F インド
G アラビア　H ペルシャ　I 季節　J a　K 雨　L 乾　②A 東アジア　B 東南アジア
C 南アジア　D 西アジア　E 中央アジア　F 韓国(大韓民国)　G 中国(中華人民共和国)
H インド　I サウジアラビア　J 6　K イスラム　L ヒンドゥー　M 仏　N イスラム
O キリスト　③A ペキン　B 漢(漢民)　C 少数　D 華　E 一人っ子　F ウ　G イ
H ア　I 経済特　J 沿岸部　K 工場　L 大気　④A ICT　B ソウル　C NIES
D ASEAN　E 二期作　F タイ　G プランテーション　H 賃金(人件費)　I 工業　J 工業
K スラム　⑤A ヒンドゥー　B 小麦　C 米　D 綿花　E 英語　F ベンガルール　G ICT
H 時差　⑥A イスラム　B ペルシャ　C 石油　D サウジアラビア　E OPEC
F レアメタル　G シルクロード

[解答 96](1)A 黄河　B 長江　C メコン川　D インダス川　E ヒマラヤ山脈
F チベット高原　G デカン高原　H インドシナ半島　I アラビア半島　J インド洋
K ペルシャ湾　L カスピ海　(2) ウ　(3)① 季節風(モンスーン)　② Y　③a 雨季　b 乾季
④ Y　(4)A シンガポール　B コルカタ　C シャンハイ　D ウランバートル

[解答 97](1)A モンゴル　B 韓国(大韓民国)　C 中国(中華人民共和国)　D フィリピン
E インドネシア　F マレーシア　G シンガポール　H ベトナム　I タイ　J インド
K サウジアラビア　(2)a 東アジア　b 東南アジア　c 南アジア　d 西アジア
e 中央アジア　(3) 約 6 割　(4)① 仏教　② ヒンドゥー教　③ イスラム教　④ キリスト教

[解答 98](1)① 漢(漢民)　② 少数　③ 華人　(2)a 中国　b インド　(3)① 一人っ子政策
② 人口の増加をおさえるため。　(4) 少子高齢化　(5)① A　② C　③ B　(6) 経済特区
(7) 資本と技術　(8) 世界の工場　(9) 大気汚染　(10) 工業が発達した沿岸部と, 工業化がおくれた内陸部の経済格差が拡大したこと。　(11) アジア NIES　(12)① ICT　② ソウル
③ 集中

[解答 99](1)① キリスト教　② イスラム教　③ 仏教　(2) ASEAN　(3)① 二期作　② タイ
③ プランテーション　④ あぶらやし　⑤ バナナ　⑥ コーヒー　⑦ マングローブ
⑧ えび　⑨ 熱帯雨(熱帯)　(4) 労働者の賃金が安いから。　(5) 工業団地　(6)① 農産物
② 機械　(7) スラム

[解答 100](1) ヒンドゥー教　(2) カースト制度　(3) イスラム教　(4)A 米　B 小麦　C 茶
D 綿花　(5) ICT　(6) ベンガルール　(7) 数学，英語　(8) インドでは英語を話せる人が多いことと，インドとアメリカでは約 12 時間の時差があること。

[解答 101](1) 乾燥帯　(2) イスラム教　(3) アラビア語　(4) ペルシャ湾　(5) 石油
(6) OPEC　(7) サウジアラビア　(8) ドバイ　(9) 難民　(10) レアメタル
(11) シルクロード